

平成30年度使用小学校特別の教科道徳用教科書

選定に必要な資料

松江採択地区教科用図書採択協議会

各発行者記号は、次のとおりである。

記号	発行者名	発行略称
A	東京書籍株式会社	東 書
B	学校図書株式会社	学 図
C	教育出版株式会社	教 出
D	光村図書出版株式会社	光 村
E	日本文教出版株式会社	日 文
F	株式会社光文書院	光 文
G	株式会社学研教育みらい	学 研
H	廣濟堂あかつき株式会社	廣あかつき

選定に必要な資料

(種目名 特別の教科道徳)

No1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A	<p>・巻頭には道徳の学習の進め方や話し合いの約束、みんなで考えることによさなどが丁寧で説明されており、年度初めの道徳開きに活用することができる。</p> <p>・低学年では挿絵を主とした短い文章の教材を多くし、高学年では読み応えのある長文の読み物教材を掲載するなど、学年に応じて分量が工夫され、登場人物の心情に迫ることができるよう配慮されている。</p>	<p>・全学年に「出会う・ふれ合う」ページが配置されており、他者とのコミュニケーションを通してねらいとする道徳的価値に迫ることができるよう工夫されている。</p> <p>・問題解決的な学習によって議論しながら考えを深められるよう「問題を見つけて考える」ための教材を配置している。</p>	<p>・6年「愛華さんからのメッセージ」は、島根県の小学生だった愛華さんの書いた本が教材化してあり、身近な存在として興味関心をもって学習に向かうことができる。</p>	<p>・中学年で1教材、高学年で2教材に「考えるステップ」の欄を設け、話し合いの手引きとして問題解決的な学習ができるよう工夫してある。</p> <p>・巻末「郷土の発展に尽くした人たちや郷土の作家たち」では、小泉八雲記念館を作った根岸磐井が紹介されている。</p>	<p>・低学年では巻末にまとめて家庭や学校生活に関連する教材が扱われ、中高学年では「つながる・広がる」といった他教科や地域活動に関連ページが設けてある。</p>	<p>・授業ごとの振り返りと、年間3回の振り返り欄を設け、児童の1年間の変化を見取ることができるように工夫されている。</p> <p>・いじめ問題の扱いは、直接的・間接的な指導が可能な2教材を連続して学習するように全学年ともなっており、より学習効果が高めることができるよう配慮されている。</p>	<p>・低学年では巻末にまとめて家庭や学校生活に関連する教材が扱われ、中高学年では「つながる・広がる」という他教科や地域活動関連ページを設けている点工夫されている。</p> <p>・いじめ問題の扱いは、直接的・間接的な指導が可能な2教材を連続して学習するように全学年ともなっており、より学習効果が高めることができるよう配慮されている。</p>
B	<p>・多くの教材が見開き4ページに収められており、内容を把握しやすくなっている。</p> <p>・各教材に内容項目を明示し、学びの焦点化を図ることができるよう配慮されている。</p>	<p>・教材の一番初めにキーワードとして内容項目が示されており、何について学ぶかが明確に伝わるよう工夫されている。</p> <p>・巻末に「道徳の学習をふり返ろう」ページがあり、1年間の学習内容を見通すことができるよう工夫されている。</p>	<p>・全体的に挿絵や写真が大きく掲載されており興味関心をもって学習できるよう工夫してある。</p> <p>・難しい漢字をルビ付きの言葉で書くことによってわかりやすくし、読み物の世界にすぐに入ることができるよう工夫している。</p>	<p>・4年「心を結ぶ1本のロープ」、6年「おばあさんの新聞」など、島根県に縁のある人物や出来事を取り上げられている。</p> <p>・6年「命をつなげ！ドクターヘリ」は、本県にとって、なくてはならない重要な救急医療を取り上げ、生命尊厳の意識を高められるよう工夫されている。</p>	<p>・「活動」の冊子では、問題解決的な学習、体験的な学習などの多様な学習活動を通して自ら考えたり対話したりできる工夫されている。また、「保護者の方へ」として道徳教育でめざす方向を示したり、保護者記入欄を設けたりして、学校での学習を家庭と共有するための配慮もなされている。</p>	<p>・学年に応じて、情報モラルに関する様々な生活場面が読み物やコラムとして取り上げられており、情報の受け手または発信者としての心構えが養えるように配慮されている。</p>	<p>・全体的に挿絵や写真が大きく掲載されており興味関心をもって学習できるよう工夫している。また、「活動」の冊子では、問題解決的な学習、体験的な学習などの多様な学習活動を通して自ら考えたり対話したりできるよう工夫されている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 特別の教科道徳)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
C	<p>・学年ごとに補充教材があり、各学校の教育活動の実態に合わせて活用することにより他教科との関連の中でより深い学びができるようにしてある。</p>	<p>・内容項目ごとに教材がまとめて配置してあり、関連づけて考えることができるようにしてある。また「導入」部分の配置により、学習のねらいを明確に把握し、問題解決的な学習展開ができるようになっている。</p>	<p>・各学年の巻頭に「道徳開き」のページ、巻末には学習をふり返ることができるようにしてあり、1年間を見通し自らの成長や変容を感じ取り、次の学年につなげる工夫がしてある。家庭との連携も図れるようになっている。</p> <p>・紙芝居風のイラストや刺繍、フェルト人形など、ビジュアル面が充実しており、児童が興味をもって教材に向かえるよう工夫してある。</p>	<p>・1・2年の巻末には「みにつけよう れいぎ・マナー」のページが設けられており、低学年のうちから身につけておきたいふるまいについて紹介されている。</p> <p>・5年「くじけずに努力する」では、様々な職業人を紹介する教材を多く掲載しており、島根県が進めるキャリア教育の視点からも充実した学習が期待できる。</p>	<p>・「ジャンプ」のコーナーでは、課題解決に向けたロールプレイや考察などができるようになっており、学習したことを実生活でも生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>・全学年に「やってみよう」というモラルスキルトレーニングに関する教材が配置してあり、実体験を通して理解し行動化が図れるよう配慮されている。</p>	<p>・2年以上の全学年を通じ、多くの偉人を取り上げてそれぞれの偉人の生き方や考え方に触れられるようになっている。</p>	<p>・内容項目ごとに教材がまとめて配置してあり、関連づけて考えることができるようにしてある。また「導入」の配置により、学習のねらいを明確に把握し、問題解決的な学習展開ができるよう工夫されている。</p> <p>・全学年に「やってみよう」というモラルスキルトレーニングに関する教材が配置してあり、実体験を通して理解し行動化が図れるよう配慮されている。</p>
D	<p>・現代的な課題に関わる内容項目について、読み物とコラムを合わせて学習することによって、より多面的に考えを広げられるようになっている点が特に優れている。</p> <p>・3年以上の「なんだろう なんだろう」は、複数の道徳的価値が含まれており、児童の多様な考えを引き出すことができるよう工夫されている。</p>	<p>・1年間を4つの「学習のまとめ」に分け、それぞれの視点の重点化を図っており、学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮して効果的に指導できる点が優れている。</p> <p>・教材文の後にある「考えよう」では、課題を設定したり、考えを深めたり、価値を一般化したりする問いを設定しており、道徳的価値を深め自分の生活と結びやすい構成になっている。</p>	<p>・発達段階を考慮し、迫力ある写真や漫画形式、見開きの1枚絵、複数の資料を併用して考えられるものなどを印象的に掲載して、児童の興味・関心をひく工夫をしている点が特に優れている。</p> <p>・導入では、キャラクターの呼びかけにより、児童が教材に興味をもち、主体的に関われるよう工夫されている。</p> <p>・表紙に現代風なアニメ画を用いて親しみを感じさせるよう工夫されている。</p>	<p>・1年「ありがとうがいっぱい」4年「土曜日の学校」など、島根県が取り組んでいるふるまい推進事業と関わりのある内容が扱われている。</p> <p>・2年「おげないりすさん」5年「あいさつって」など、演じた話し合ったりする活動を通して、児童が切実さをもって考えが深められるよう工夫されている。</p>	<p>・2年以上の学習の手引きには「つなげよう」が設けられており、他教科や特別活動、学校行事との関連が図られるよう配慮されている。</p> <p>・裏表紙に保護者に向けてメッセージが書かれてあったり、巻末に他教科等との関連が示されたりしており、各学校の実態に合わせて計画が立てやすい点で優れている。</p>	<p>・各学年に「学びの記録」を記入するページを設定し、定期的に自己の成長とふり返りを確かめることができるように工夫されている。低学年においては、記述式ではなくマークを塗りつぶす表現方法になっている点に配慮を感じる。</p>	<p>・1年間を4つの学習のまとめに分け、視点の重点化を図っている点、また、学びの深まりとつながりを意識した内容項目の配列が工夫されている点が優れている。</p> <p>・現代的な課題に関わる内容項目については、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットを設け、子ども達が現代的な課題にふれ、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている点</p>

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
E	<ul style="list-style-type: none"> ・主題名を最初に明示することによって考えさせたい道徳的価値への方向付けをする工夫がなされている。 ・「学習の手引き」が示されている教材が6つあり、具体的な話し合い活動の展開例が写真や吹き出し付きで掲載されており問題解決的な学習が進めやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報、いじめ、環境、生命など重点的に指導すべき内容については「心のベンチ」のページを設け、より具体的な資料を提示することで、より深くより多角的に考えられるように工夫されている。中でも、いじめに関する資料の内容は直接的であり、かつ児童にとって身近に起こりうる状況であるため、児童が自分事として考えられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストを見開きページにして迫力ある紙面構成にすることによって児童の興味関心を高めている工夫がなされている。 ・読み物教材に登場する人物やあらすじが紹介されており、内容の把握がしやすいよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年「いじりといじめ」3年「ぼくのボールだ」などのように、問題解決となる結末まで示していない教材があり、問題解決に向けて考えたり議論したりすることができるよう工夫されている。 ・5年「和太鼓調べ」等、地域で古くから大切にされてきた文化や伝統を大切にしていこうとする心情を育てることのできる教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年「いつもの避難訓練」「通学路」などの教材は児童が実生活と結びつけて考えることができるよう工夫されている。 ・5年「美しい夢」6年「税金ってだれのため?」「地球を一周歩いた男」などのように、高学年では社会科学習と関連づけて学習することができる内容が数多くある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊「道徳ノート」には、教材ごとに自分の考えだけでなく、友達との考えや授業のまとめなどを書くことができるようになっており、充実した言語活動を図ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「心のベンチ」のページを設け、より具体的な資料を提示することで、より深くより多角的に考えられるように工夫されている。 ・読み物教材に登場する人物やあらすじが紹介されており、内容の把握がしやすい工夫がされている。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年35点(1年34点)の教材のほか、付録として5~6点、計40点の教材が収められており、児童や学校、地域の実態に応じて選択できるように配慮されている。 ・1~3年では、全ての漢字に読み仮名があり、ユニバーサルデザインの教科書になっている。文字の大きさも適当で読みやすく工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に「重点主題」が設定しており、連続した資料配置によって集中して学習が進められるように配慮されている点において優れている。 ・「生命の尊重」は、全学年とも重点主題であり4点ずつ資料が掲載されている。系統的に「生命の尊重」について繰り返し学習することで考えを深めたり広げたりすることができる点において特に優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に親しみのある漫画をもとに、考える教材を取り入れ、児童の意欲を喚起するように工夫されている。 ・児童に寄り添うようなキャラクターを設定し、各教材の下部で吹き出しによって「投げかけ」を行うことで、多様な感じ方や考え方を広げたりできる点で優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルについての資料が各学年に設定され、低学年ではPCを使うマナーについて、中学年では更に注意点や危険性といった内容について系統的に学習できるよう配慮されている。 ・5年「シンボルマークにこめられたものは」では、例として島根県の県章が取り上げられており、直接的に郷土愛を展開することが期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめとして、実生活でも挨拶や言葉遣いなど具体的な行為を行うよう提案し、そのよさや難しさなどを体験するように工夫している。 ・家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示し、学習したことが児童の日常生活へつながるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年のはじめにオリエンテーションとして、道徳の時間の学習の流れと学んだ道徳的価値を実生活につなげていくこと投げかけており、それを一本の道筋で分かりやすく表現しており、道徳学習の意義がとらえやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として教材を他社より多く掲載し、各学校の実態に合わせて教材を選び出すことができる点で、特に優れている。 ・各教材に「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」が示されており、児童が見通しをもって学習を進めたり、考えの深まりや心の変容を実感したりすることができるよう工夫されている点において特に優れている。

